



学校だより

たちばな

2024年8月29日

尼崎市立立花小学校
校長 齋藤 栄治

『 自由と自己決定の尊重 』

長かった夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が立花小学校に戻ってきました。

夏休みはいかがでしたでしょうか。まだまだ残暑が厳しい日が続きそうですが、児童の健康状態を十分に観察しながら教育活動に取り組んでいきます。

子どもたちは日ごろの学校生活の中で、さまざまなことを考え、自分で判断しながら過ごしていますが、夏休み中は家族や一部の友だちと過ごすことが多くなり、主体性が損なわれてしまいがちです。そのうえ、保護者や家族からは「早く起きなさい」「宿題しなさい」と注意を受けることが増えたり、ゲームやスマートフォンを使う時間を制限したりと、子どもにかかる言葉がつつい命令形になってしまうこともあったのではないのでしょうか。

親としては「生活リズムを崩さないように…」との思いからくる注意や声かけなのでお気持ちはよくわかります。実際、私も無意識に口からでてしまい、癖になってしまっていると感じます。しかし、これを続けていくと、子どもたちは命令に従うことに慣れてしまい、考える力や主体性は損なわれる一方です。

そこでまずは、親や教員などの大人が子どもにかけている言葉を【命令形】から【自己決定させる言葉】に変えてみてはどうでしょうか。例えば「早く起きなさい」を「起きてくれたら片付けがはかどるから助かるなあ」に、「宿題をしなさい」を「何時から宿題する?」に変える。ゲームやスマートフォンの時間も「1日何時間ならいいかな」と一緒に考える。こうした自己決定を積み重ねることで次第に「～したい」「～だと思う」「～をやってみたい」という意思表示や意欲が増えていきます。あとは、その自己決定をできるだけ尊重しながら、大人が「①他の人の迷惑にならないか ②限度を超え、わがままになっていないか」という2つの視点でジャッジをすればいいのだと思います。

私たち大人は、子どもたちが持っていない知識や経験を持っています。ゆえに、正解を急いだり、効率的な方法を教え込んだりしてしまいがちです。その方が手っ取り早いからです。子どもに任せていると時間がかかる、失敗をするかもしれない、と心配もありますが子どもなりに考え、反省することが経験となり、自分を俯瞰的に見る力へとつながります。

とはいえ、「なんでも自由にしてごらん」という極端なことではなく、少し離れたところから「困ったときは呼んでね」と、心理的安全性を担保しながら、自己決定の感覚に慣れていけるよう見守ってあげてください。子どもの成長を「待つ」というもどかしさも、学校と家庭で共有できると心強く思います。



8・9月の行事予定

- 29日(木) 始業式 大掃除 12時半頃下校
30日(金) 12時半頃下校
2日(月) 給食開始 委員会
身体測定(5,6年)
小中連携出前授業(6年)
3日(火) 身体測定(3,4年)
4日(水) 身体測定(1,2年)
夏休み作品展(児童)
5日(木) 一斉登校指導
オープンスクール(1~5校時)
夏休み作品展(保護者)
修学旅行説明会
6日(金) 身体測定(すみれ)
11日(水) (4,5,6年) 5校時授業 14:45頃下校
(1,2,3年) 4校時授業 13:30頃下校
16日(月) 敬老の日
19日(木) 立花フェスティバル5校時(児童)
[幼保小連携]
20日(金) オープンスクール午前
立花フェスティバル
22日(日) 秋分の日
23日(月) 振替休日
24日(火) 月曜時間割 委員会
30日(月) 自然学校(5年) 10月4日まで



10月の行事予定

- 9日 連合体育大会(6年) 予備日22日
24日 就学時健診 13時頃下校
25日 計算検定(中間)
29日 修学旅行(6年)
30日 修学旅行(6年)

学習の様子

虫探し・虫取りをしました(7月)

2年生が虫探し・虫取りをしました。立花小学校にはどのような生き物がいるのか考え、楽しみながら活動しました。見つけた虫を観察することもできました。



お知らせ

☆夏休み作品展について

夏休み中に子どもたちが取り組んだ工作や、自由研究などの作品を展示します。ご都合のよい時間に
来校いただきたいと思います。子どもたちの取り組みの成果をぜひご覧ください。

展示場所 1・2年 生活科室 3・4年 家庭科室 5・6年 多目的室

☆オープンスクール 立花フェスティバル

ご多用と思いますが、子どもたちの様子をご参観いただき、成長をほめ、励ましてください。立花フェ
スティバルでは、子どもたちが考え、工夫した出し物をお楽しみください。